

12 2016年度 団体

iwakura-shi siminkatsudou-joseikin
2016nendo katsuyoujissekihokokusyo
12no dantai-ga samazamanajigyou-wo okonatta kirokudesu.

活用実績報告集

— 12の団体が行った事業の記録集 —

はじめの 一歩コース

■いわくら地震防災勉強会



■おこま



■子ども・若者支援をつなぐ会



ステップ アップ コース

■こどもハートクラブ岩倉支部



■いわくら・ユニバーサルデザイン研究会



■「命の未来を想う」プロジェクト



■あじさい会



■食と健康実践塾



■コミュニティカフェかがよひ



■まちづくり百貨店



■岩倉青年会議所



■岩倉生涯学習市民の会



平成28年 4月1日
↓
平成29年 3月31日

平成 28 年度市民活動助成金活用実績報告集もくじ

3. 岩倉市市民活動助成金とは

(はじめの一歩コース)

4. 「ゼロから始める防災対策」いわくら地震防災勉強会
5. 「子育て世帯の母親による楽器演奏事業」おこまま
6. 「子ども・若者支援のネットワークづくり」子ども・若者支援をつなぐ会

(ステップアップコース)

7. 「昔なつかしい映画をみよう！」岩倉生涯学習市民の会
8. 「岩倉市における児童虐待防止啓発活動・啓発グッズ作成」こどもハートクラブ岩倉支部
9. 「子育て世代に食の重要性を訴える事業」「命の未来を想う」プロジェクト
10. 「慰問活動で岩倉市内の利用者を元気にする事業」あじさい会
11. 「市民の健康寿命の延長と未病対策をめざす食事作りの実践」食と健康実践塾
12. 「世界の様々な音楽について知識を広め、
演奏を聴くことにより世界の文化を理解するための事業」コミュニティカフェかがよひ
13. 「岩倉の魅力再発見！いわくら・まち・めぐり事業」まちづくり百貨店
14. 「小学生写生大会～桜で岩倉を咲かせよう～」岩倉青年会議所
15. 「ユニバーサルデザインで、すべての人にやさしいまちづくり」
いわくら・ユニバーサルデザイン研究会

16. 平成 29 年度の市民活動助成金活用団体及び活動内容紹介

市民活動助成金についての問い合わせ先

岩倉市総務部協働推進課市民協働グループ（市役所 5 階）

Tel : (0587) 38-5803

e-mail : kyoudou@city.iwakura.lg.jp

市民活動助成金についての相談窓口

岩倉市市民活動支援センター 岩倉市昭和町二丁目 17 番地 市民プラザ内

Tel : (0587) 37-0257

e-mail : city-iwakuraplaza@city.iwakura.lg.jp

岩倉市市民活動助成金とは

地域が抱える諸課題の解決を図り、市民の福祉向上やまちづくりに貢献するなど、市民活動団体が主体的に取り組むモデル的な事業に対して財政支援を行い、団体活動の活性化や市民活動の拡充を図るものです。

応募された事業については、目的、事業内容などを公開の場で発表する「企画提案発表会」を経て、助成する団体と助成金の額を決定します。

助成の種類及び助成額

《ステップアップコース》

年間を通して計画的に事業が実施され、3年以上の継続した活動が実施される事業に対して助成します。

補助期間：1年ごと **補助金額**：限度額15万円
補助率：1回目 70%以内
 2回目 50%以内
 3回目 30%以内

《はじめの一步コース》

これから市民活動に携わりたい団体、設立から3年以内の団体の活動に対し助成します。

補助期間：1年 **補助金額**：限度額5万円 **補助率**：90%以内

《イベントコース》

対象年度内に実施する単年度計画のイベント等の活動に助成します。

補助期間：1年 **補助金額**：限度額5万円 **補助率**：50%以内

- ※ 複数の団体と協働して行う場合には、どの部門も補助率を10%加算します。
- ※ 平成29年度の助成金対象事業は16ページに掲載されています。
- ※ 平成30年度の募集に関しては平成29年11月上旬に公表されます。

平成30年度市民活動助成金についての予定

| | |
|------------|-------------------|
| 平成29年10月初旬 | ：助成金説明会 |
| 平成29年11月中旬 | ：申請書類受付 開始 |
| 平成29年11月中旬 | ：市民活動助成金説明&相談会 |
| 平成29年12月中旬 | ：申請書類受付 締切 |
| 平成30年2月中旬 | ：企画提案発表会 |
| 平成30年3月初旬 | ：内定通知 |
| 平成30年3月下旬 | ：決定通知、助成金事業開始 |

ゼロから始める防災対策



事業総額 1,600円 助成額 1,000円

- ・会場使用料及びプロジェクター借用料として活用

◆活動内容

- ・勉強会「地震はどうして発生するのか。急げ！地震対策」
平成29年1月14日（土）第1部：13:30～15:00、第2部：15:30～17:00
岩倉市生涯学習センター会議室、参加者20人
- ・スターキャットテレビで活動内容が紹介された。
平成29年1月20日（金）、21日（土）計4回放送

◆成果

- ・近い将来に発生が予測される南海トラフ巨大地震に備えて勉強会を開催し、広く市民に地震防災の必要性を啓発した。

◆工夫と課題

課題

- ・仕事の都合（単身赴任等）で時間の都合がつかず、計画どおりに実施できなかった。
勉強会の日に雪が降り、参加者が少なかった。
広報活動は、チラシ、市広報紙、ネット、中日新聞と効果的に実施できた。

改善

- ・依頼に応じて勉強会を開催。（平成29年4月に依頼があり、開催予定）
市内の小中学校等へ声をかけ、外部講師として活動したい。

子育て世帯の母親による楽器演奏事業



事業総額 55,114円 助成額 49,000円

・主にTシャツ制作費、楽器楽譜購入費として利用

◆活動内容

イベントでの演奏活動

- ・4/11、4/19、11/28 おこままカフェ（市民プラザ会議室）各回約30名 他【お下がりあげますの会】の開催
- ・5/16、10/17（市民プラザ会議室）各回約40名

イベントに向けた練習活動、情報交換、子ども同士の交流 週一回程度（市民プラザ会議室）

◆成果

- ・おこままカフェの参加者の多くが初めての方で、活動を広く伝えることができた。
- ・桜まつり市民街頭パフォーマンスでは、幅広い世代の方に演奏を聴いていただくことができた。
- ・【お下がりあげますの会】開催を通じて、子育て世帯の母親同士の交流を拓けることができた。

◆工夫と課題

工夫

- ・広報活動はチラシやブログを活用し、子育て世帯の母親の目に触れるようにした。扱いやすい打楽器を準備することで親子そろって演奏を楽しめるようにした。

課題

- ・定期練習に参加しづらい場合が考えられ、活動日の検討や新会員への呼びかけが課題である。

改善

- ・子育て世帯の母親の交流の場として【おこままカフェ】や【お下がりあげますの会】は定着しつつある。継続して続けていけるように子育て支援センターなどで新会員への呼びかけをして活動を引き継ぎ、今後も子どもと共に音楽を楽しんでいきたい。

子ども・若者支援のネットワークづくり



事業総額 50,522円 助成額 50,000円

・主に講師謝金、会場費として利用

◆活動内容

- ・地域フォーラム 平成28年7月18日実施 於岩倉市生涯学習センター 参加者54名
『協同で社会をつくる実践へ』岐阜大学地域科学部准教授 南出吉祥氏の講演等開催
- ・コトトコ座談会（ローカル・ワイド・ウェブいわくらとの協働企画）
平成28年9月11日 於市民プラザ 参加者48名
『共に生きる』岐阜大学地域科学部教授 土岐邦彦氏の講演等開催

◆成果

- ・『協同で豊かな地域社会を創造していく実践』について、市民と共に考える機会をつくることができた。
- ・出会った市民同士が横につながり、新たな企画・実践へと発展した。
「みんなの食堂」「学習室」などが新しく展開されている。

◆工夫と課題

課題

- ・メーリングリストの登録を呼びかけたが、登録人数は20人に満たず、機能していない。今後、情報を共有する方法を検討する必要がある。
- ・市民同士は繋がることもできて、公共の専門機関と連携して実践を行うことが難しい。

改善

- ・会える範囲の人と情報を共有しながら、広い範囲を対象に情報を発信している機関と連携していきたいと思う。
- ・共通の課題に意識をもつ市民同士が連携して、草の根的な活動を継続していく予定です。

昔なつかしい映画をみよう！



事業総額 118,513円 助成額 94,000円

- ・主に講師謝礼、チラシ・ポスター印刷費として利用

◆活動内容

- ・5月17日 八剣会館 32名 上映映画：花笠道中 ケアドカフェによる認知症予防講座開催
- ・7月7日 泉会館 27名 上映映画：一本刀の土俵入り ミニ歌声開催
- ・9月28日 第三児童館 35名 上映映画：花笠道中
- ・10月14日 井上会館 21名 上映映画：次郎長三国志 ケアドカフェによる認知症予防講座
- ・10月16日 岩倉団地集会場 22名 上映映画：花笠道中
- ・12月8日 泉会館 20名 上映映画：花笠道中 ミニ歌声開催

◆成果

- ・映画会の開催で、これまでマンネリ化していた地域活動に参加者が増え、又集まりのない地域でも多くの人に参加してくれた。継続していく事が大切である。

◆工夫と課題

課題

- ・行政区及びゆうわ会の活動に地域の濃淡がある。ますます高齢化が進む中、地域毎で集まれるコミュニティーの「場」づくりが緊急課題、公民館を賑わいの場として活用するなど組織づくりネットワーク作りが必要と思う。

改善

- ・町内の各団体に声をかけ公民館での開催を継続実施していく。

岩倉市における児童虐待防止啓発活動・啓発グッズ作成



事業総額 421,000 円 助成額 150,000 円

・主に講師謝金、啓発グッズ代として利用

◆活動内容

- ・平成 28 年 11 月 20 日（日）岩倉市民プラザにてフォーラム開催。参加者 33 名
児童虐待防止に関する講演とディスカッションを行った。参加者にはオレンジリボンといー
わくんのコラボピンバッジと絵本を配布した。その後も岩倉市民の方と関わる機会毎にピン
バッジや絵本を配布した。

◆成果

- ・児童虐待問題に関心を持っていただくことができた。
- ・児童虐待の早期発見に何が大切なのかを理解していただいた。

◆工夫と課題

苦勞・課題

- ・事前告知が思うようにできず、参加者を募るのに苦勞をした。
- ・虐待に苦しむ子どもや親をいち早く発見、救出または虐待を未然に防ぐには、課題が山積。
どのようにしたら当事者との関わりが持てるかが最大の課題。

改善

- ・事前告知にもう少し力を入れる必要がある。チラシの折り込みや新聞などの活用が望ましい。
- ・早期発見、虐待防止はこうした活動を地道に行うしか術がなく、一人でも多くの市民がこの
問題に関心を持ってもらえるよう、継続的に活動続ける。

子育て世代に食の重要性を訴える事業



事業総額 21,101 円 助成額 4,000 円

- ・主に料理材料費、会場費として利用

◆活動内容

- ・お料理会「やさしいおやつを一緒につくろう」【1 回目参加者 14 名・2 回目参加者 8 名】
「野菜がおいしいお料理会」参加者 6 名（各回、全員幼児期の子どもを連れてお母さん）
- ・岩倉産の餅米を使っての餅つき（NPO食と健康実践塾との協働企画） いわくら大地の里の家 参加者 22 名
- ・ミニコミ誌の検討 平成 29 年 3 月 28 日 発信内容の検討

◆成果

- ・参加者の中には子どもが野菜料理をぱくぱく食べる！と驚いた方が何名もいる。調理法ひとつでこれだけ野菜の力を活かしかれるということを感じていただけた。日々のおやつづくりや料理、食材選びにとっても役にたっているという声をいただいた。
また、お料理会で出会った方同士で、それぞれが息抜きをする仲間になったり、情報を共有する仲間になったりと、つながりの広がる機会となれた。

◆工夫と課題

- ・お料理会の食材は地域の商店で揃えることを意識している。身近なところで入手できるもので健やかな食生活をしていくことができるということをアピールしている。今年度は目の行き届く人数であったため、丁寧に交流をはかれた。定員を減らすことを検討する。
- ・ミニコミ誌については、記載内容を検討するも、偏りが生じないように情報を編集することが難しく、発行を見送った。今年度の活動で得たつながりをもって、多くの見解のもと、発行を実現していきたい。
- ・家庭菜園は、収穫した野菜での親子食堂は見送ったが、その代わりとして岩倉産の餅米を使って餅つきをし、日常の食事の重要性について参加者とお話をした。作物を育てるところから食材に向き合い、食材に関する感性を養っていきたい。

慰問活動で岩倉市内の利用者を元気にする事業



事業総額 5,150円 助成額 2,000円

・主に会場使用料、印刷費として利用

◆活動内容

- ・桜まつり来場者を盛り上げるイベント出演 4/3リファイン岩倉、4/4 お祭り広場
- ・慰問活動 4/20・7/27・H29/2/8 いわくらの泉、4/25 岩倉東クリニック、5/18・7/11・12/21・H29/2/20 岩倉小規模多機能ホームちあき、6/10・12/14 チアフル岩倉、6/15・11/30・H29/2/15・3/15 中央デイケアセンターA&N
- ・慰問活動の演目の打合わせと練習を市民プラザで9回、さくらの家で1回行いました。

◆成果

- ・秋の一時期を除いてコンスタントに慰問活動を行うことが出来ました。
- ・今年度は特技のない方もお手伝いとしてメンバーに加わってもらうことが出来ました。
- ・あじさい会は、一度の訪問で様々な出し物を提供できる団体として、デイケアの利用者にも大変よろこんでもらえました。

◆工夫と課題

工夫・課題

- ・デイケアの利用者さん達が飽きないように、訪問先では演目を変えて挑むように調整した。新しい演目に挑戦することもメンバーのモチベーションになった。
- ・途中代表が体調を崩し3ヶ月ほど活動できない事があった。復帰後も体調がすぐれないためモチベーションがあがらないことがあった。

改善

- ・高齢化が進んできているので、60歳代の時間がある人を巻き込んで活動を行っていきたいと考えている。特技がなくてもお手伝いという形でたくさんの方と楽しみながら活動を続けて行きたいと思う。

市民の健康寿命の延長と未病対策をめざす食事作りの実践



事業総額 160,797 円 助成額 14,000 円

・主に食材費、人件費として利用

◆活動内容

1. バランス食を基本にして家庭へ持ち帰ることができる夕食作り
 - ・毎月 1 回 14:30～17:00 4～5 世帯 (6～14 名程度)
 - ・季節食品を中心に簡単にできる料理を中心にメニューを組んだ
2. 高齢男性農業者の月 1 回の打ち合わせ会を 8 名前後で昼食会を実施

◆成果

- ・「1」の参加者は、勤めている人が中心であるので、持ち帰ることの利点が家族の喜びのメニューになっている
- ・「2」の参加者は、村の高齢男性農業者が中心であるので、村の農産物を利用している。男性のみの集会で好評のまま続いている。

◆工夫と課題

苦労・工夫

- ・「1」は、作り方に工夫のいるものを試食品として 1～2 人前、1～2 種の料理をその場で実施。残っている調理素材を追加し、別の調理法も加えている。
- ・「2」は、農業者の農作物作りの苦労話、加工方法のアドバイスも加えている。収穫許可のあるところに参加者を直接連れて行くことができたことは好評でした。

課題

- ・「1」は、開催を希望されているが、今は希望に添えない状況である。
- ・「2」は、農業者の生産過程の苦労話をもっと取り入れたい。

*スターキャットチャンネルに 11～12 月の 1 ヶ月間出演、放映されたことが大きい成果である。

世界のさまざまな音楽について知識を広め、演奏を聴くことにより世界の文化を理解するための事業



事業総額 63,953円 助成額 5,000円

・主に講師謝礼、印刷費として利用

◆活動内容

民族音楽レクチャー&ライブ・会場コミュニティカフェかがよひ

- 8/13 ちんどんミュージックで世界一周 奏者&レクチャー：ちぱちぱちんどん音楽隊 参加者13名
- 10/1 二胡 奏者：中村ゆみこ レクチャー：加藤政雄 参加者12名
- 12/4 デジタルドゥ演奏：三島ひろき他 レクチャー：加藤政雄 参加者40名
- 2/5 フラメンコ 吉岡洵他 レクチャー：加藤政雄 参加者25名

◆成果

・受講者数も昨年より多く、参加者の熱心な姿勢により、これまでより深く音楽を楽しんでもらうことができました。なかなか普段聞く機会のない民族音楽の生演奏に触れ、異文化に親しみ理解が深まりました。岩倉市内には外国人も多く、このイベントは異文化、多文化の理解につながるものだと実感しました。参加者からも好評でしたので今後も活動を継続していきたいと思います。

◆工夫と課題

工夫・課題

- 市広報紙、インターネットなど、コストを掛けない告知方法を使った。
- なるべく楽器に触れることができるコーナーを設けた。
- ジャンルによって、入場者数にムラがある。

改善

- 従来の方法での告知に加え、今までの来場者へのメールでの来場を誘う。
- 参加者に呼びかけ、口コミによる宣伝、来場を依頼する。

岩倉の魅力再発見！「いわくら・まち・めぐり」事業



事業総額 308,754 円 助成額 59,000 円

・主にチラシデザイン謝礼、印刷費として利用

◆活動内容

- 4月に「いわくら・ひと・さくら・まつり」の開催：主な事業「スタンプラリーを集めてお菓子をもらっちゃおう」「コスプレ」「雅楽演奏会」「市民街角パフォーマンス」「岩倉セレクトショップ」「バーうかい」「花見パーティー」「メガトンパンチスライブ」「ベレーキャップスライブ」
- 10月に「いわくら・ひと・かぼちゃ・まつり」の開催：「い〜にゃくんのスタンプラリー&合言葉でおかしをゲット!!」「ちびっこおばけ屋敷」「ハロウィンお楽しみ会」(①おかしの泉 ②ハッピーおかしをもらおう! ③うたっておどって楽しもう! ④い〜わくんとじゃんけん大会⑤がち仮装写真撮影コーナー)

◆成果

- さくら・まつり：スタンプラリーは思うほどまわってもらえなかった。さまざまなイベントを市民及び観光客に楽しんでもらえたと感じた。
 - かぼちゃ・まつり：最初に用意したお菓子では足りないぐらい親子で市内をめぐってもらえた。おばけ屋敷は怖がりながらも出てきてから楽しそうにしていた。‘うたっておどって’も前で一緒に歌う子もいて大盛り上がり。子どもたちには素晴らしい思い出が出来たことと思う。
- ◎この2つの事業を行うことでわが町の良さをたくさん再認識してもらえたと思う。

◆工夫と課題

- さくら：(工夫) 桜まつり会場ブースを拠点として市民とメンバーが触れ合えるようにした。岩倉市の桜まつりメインの日と本会のイベント日をずらして参加しやすいようにした。
(課題) 桜まつりの時期に、桜以外のまちめぐりはたいへん難しい。しかけを工夫せねばならない。
(改善) スタンプラリーの魅力を上げる。明治村の探検隊のような仕掛けが必要。
- かぼちゃ：(工夫) 最終日にお化け屋敷という楽しみを増やした。
(課題) メンバー不足。メンバーは商店主が多く日曜日のイベントに参加出来ない。
(改善) 会社員もメンバーに誘うようにして、多様な意見、多様な活動が出来るように組織力を高めていく。

小学生写生大会～桜で岩倉を咲かせよう～



事業総額 85,430 円 助成額 14,000 円

・主にパネル材料費、ブース賃借料として利用

◆活動内容

平成 28 年 4 月 3 日(日) 場所：おまつり広場 参加者数：168 名

岩倉市の小学生を対象に岩倉のシンボルとなる五条川と桜を主とした絵を描いてもらい入選 20 作品を選考し、4 月 25 日(月)～5 月 8 日(日)アピタ岩倉店 2F ポケット広場にて展示後、各小学生を表彰。

大会当日桜の造花で、「岩倉」の文字を完成させる。

◆成果

- 1.事前申し込み 223 名 提出数 168 名 入選作品 20 点展示と表彰
- 2.桜の造花で「岩倉」の文字の完成
- 3.小学生へのアンケート記入による岩倉、桜へ対する意見・想い

◆工夫と課題

苦勞：小学生参加型の企画（桜の造花で「岩倉」の文字を作る）

工夫：よりたくさんの市民の方々に入選作品を見て頂きたく今年はアピタ岩倉店での展示

課題：今よりも多くの小学生が写生大会への参加、主に高学年。

改善：写生大会をたくさんの小学生、その保護者の方へ周知し認知を高める。

低学年、高学年それぞれの興味にあった企画、参加品を考える。

ユニバーサルデザインで、すべての人にやさしいまちづくり



事業総額 159,755 円 助成額 33,000 円

・主に交通費、作品コンクール記念品代として利用

◆活動内容

- ①市内全小・中学校でユニバーサルデザイン講座の開催
- ②UD 作品コンクールの実施
- ③車いすマークの駐車場をみんなに知ってもらうキャンペーンの開催
- ④車いすテニス体験交流会の開催
・岩倉出身の車いすテニスランキングプレイヤーの水越晴也さん他 3 名とテニスコーチの吉田さんによる、車いすテニス体験指導とプレイヤーによる模擬試合

◆成果

- ①すべての人が住みやすい岩倉にしていくにはどうすればいいかを具体的に考えたことで、自分にできることを確認できた。また、どのようにしたら良いかを具体的に考え発表できた。
- ②UD 作品コンクールは、講座等の後に開催し、UD について考えてもらい、みんなに伝えた。
- ③まわりにはいろいろな人がいるので思いやりの心が大切だと感じてもらった。
- ④サポートする方法も一人ひとり違うことがわかり、どう手伝えばいいのか、必要ないのかを本人に聞けばいいことがわかった。

◆工夫と課題

- ①外国籍の児童が増え、意思の疎通や言葉の問題もあったが、子どもたちが協力し合い通訳したりわかりやすく説明したりして、担任の先生の細かい指導と準備により取り残される子がいない様に進めた。
- ②1 学年のみ、標語のみの応募の学校があったのが残念だった。
年々中学校の卒業式が早くなり審査の時間が短くなり、今後のことを考えないといけない。
- ③当事者である車いす利用者本人に話してもらえたのはよかった。時間が少なかったため、しっかりと伝わったか不安を感じた。
- ④アリーナを借りるにあたり、床に傷をつける心配があった。万一傷がついたりして補償しなければならぬ場合に備えて、社会福祉協議会に相談し、保険を教えてもらったため、安心して開催できた。
小・中・高校へ案内を持って行き説明し参加者を募ったが、一人も参加がなかったのが残念だった。
中学生ボランティアも募集したが、一人も応募がなく寂しかった。学校と相談して考えていきたい。

平成 29 年度 市民活動助成金活用団体及び活動内容紹介

地域の社会的課題解決や、明るいまちづくりのために

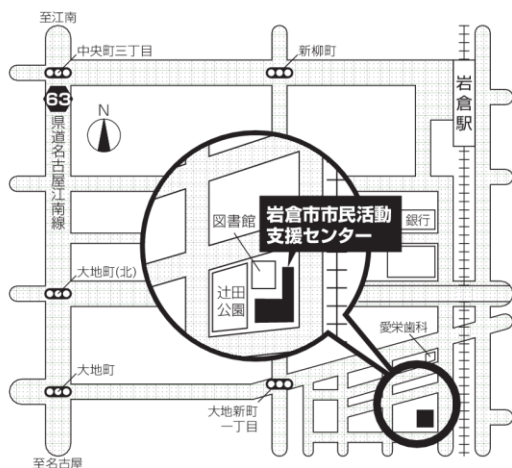
【はじめの一步コース】 団体立ち上げから 3 年以内の団体対象

| | |
|--|--|
| <p style="text-align: center;">～みんなで歌おう～ 歌えば明日が元気になる事業 【彩音 (いろおんぶ)】 協働団体：コミュニティカフェがよび</p> | <p>高齢者の外出・交流支援のため、演奏者と参加者が一緒に歌う演奏会を開催する。 ①慰問活動 ②歌声喫茶開催 ③市民音楽祭・ロビーコンサートへの出演</p> |
| <p style="text-align: center;">～手を取り合って子育てを～ 「訪問型病児保育」を岩倉市に広げよう 【NPO 法人はんどいんはんど】</p> | <p>病気の子どものお宅へ訪問保育する事業の認知度を高めるための広報活動を行う。 ①ホームページのリニューアル、SNS での情報発信 ②パンフレットとチラシの作成、配布 ③LINE スタンプの作成、販売</p> |
| <p>高齢者の親睦と社会活動参加への機会を提供する事業【縁側サロン ひなたぼっこ】</p> | <p>①高齢者の情報交換や交流の場とするため、サロンと交流会を実施する。 ②年に 2、3 回、講話会を開催する。</p> |
| <p>古文書に親しみ、いにしえに思いをさせ「岩倉」を学ぶ事業【古文書に親しむ会】</p> | <p>岩倉の歴史に触れながら、古文書の解説をするための講習会を年間を通して開催する。</p> |
| <p>【ステップアップコース】 年間を通して計画的に実施され、3 年以上継続した活動が実施される事業が対象(3 回まで)</p> | |
| <p>「音楽のあるまちづくり」推進支援事業 [1 回目] 【NPO 法人ローカルワイドウェブいわくら】</p> | <p>「音楽のあるまちづくり」を進めるための課題と取り組みを考える。 ①課題を感じている市民を発掘するための集まりを開く。 ②テーマごとに、全 5 回の座談会を開催する。</p> |
| <p>西洋音楽ガラ夜話[1 回目] 【西洋音楽ガラ夜話実行委員会】 協働団体：オクトパス合奏団</p> | <p>市民が西洋音楽（主にクラシック、現代音楽）に触れて、親しみを持ってもらうための行事を三部構成で年に 5 回開催する。 ①西洋音楽についての講習会 ②プロの音楽家による演奏会 ③実際に楽器に触れて、演奏する。</p> |
| <p>「お酒とのおつきあい、お作法」を知って、楽しく健康な生活を推進する事業[1 回目] 【岩倉リカーサークル】</p> | <p>飲酒についての正しい意識を向上させるため、不適切な飲酒が引き起こす様々な問題を知ってもらうための啓発・啓蒙活動。 ①学習会「お酒の楽しみ方」 ②講演会「お酒とのおつきあい・お作法」 ③成人式にて、アルコールハンドブックの配布</p> |
| <p>子どもや親の自己肯定感を育む事業[1 回目] 【こどもと未来をつなぐ虹の会】</p> | <p>親・子どもがともに自分に自信を持ち、自己肯定感を高めるための活動。 ①自己肯定感を育むフォーラム（明橋大二先生講演会） ②自己肯定感を育むためのワークショップ</p> |
| <p>不用品を手作りする事で物を大切にすることを育む事業[1 回目]【3R-いわくら】</p> | <p>不用品を材料として活用した「手作りワークショップ」を年間を通して開催する。</p> |
| <p>子育て世帯の母親による楽器演奏事業[1 回目] 【おこまま】</p> | <p>演奏活動を通して、子育て世帯の母親同士の情報交換・交流の場を作るための活動。 ①手遊びや読み聞かせ、演奏を行う「おこままカフェ」の開催 ②児童館や子育て支援センターでの演奏活動 ③市民プラザまつり等への出演 ④子ども用品のお下がりや無料で預かったり譲ったりする「お下がりあげますの会」の実施</p> |
| <p>五条川桜並木保存会を市民に浸透させる事業 [1 回目]【岩倉五条川桜並木保存会】</p> | <p>五条川の桜並木を保存するための活動を市民に周知するため、岩倉五条川桜並木保存会設立 10 周年記念誌を発行し、公共施設や行政区、市民活動団体や市内店舗に配布する。</p> |
| <p>岩倉市民とフォークソングを楽しむ事業 [2 回目]【いわくらフォークジャンボリー】</p> | <p>フォークソングを中心とした、歌と楽器の生演奏によるコンサートを開催する。 ①サマーコンサートの開催 ②ロビーコンサートの開催 ③施設への慰問活動</p> |
| <p>昔なつかしい映画をみよう![2 回目] 【岩倉生涯学習市民の会】 協働団体：いわくら認知症ケアアドバイザー会</p> | <p>高齢者の閉じこもり防止や住民同士の交流の場づくりのため、昭和 10～30 年代の日本映画の上映会と懇談会を年間を通して開催する。今年度からはミニ歌声交流や認知症対策講習会も取り入れる。</p> |
| <p>【イベントコース】 平成 29 年度中に実施する単年度計画のイベント等の活動に助成します。</p> | |
| <p style="text-align: center;">いわくらウォークラリー ～市内の史跡を歩いて新しい発見をしよう～ 【いわくら塾】 協働団体：岩倉軽トラ市実行委員会</p> | <p>岩倉市の魅力を再発見し、愛着を深めてもらうために、市内の史跡を巡るまち歩きイベントを実施する。</p> |

市民活動助成金を活用している事業の紹介です。



岩倉市市民活動支援センター



- 住所 / 〒482-0011 岩倉市昭和町二丁目17番地
- TEL・FAX / (0587)37-0257
- 開館時間 / 9:00-21:30 ■ 休館日 / 年末年始
- メールアドレス city-iwakuraplaza@city.iwakura.lg.jp
- ホームページ <http://www.iwakura-plaza.jp/shimin/>

下記の市民活動支援センターのブログにリンクしています

- 市民活動支援センターNEWS ■ 岩倉の市民活動団体
- ムービーいわくら ■ 岩倉インフォメーション

メールマガジン登録はコチラから > iwakura_ad@lw.ne.jp

facebook 岩倉市市民活動支援センター **twitter** @IwakuraCSC

インターネット で検索してください

